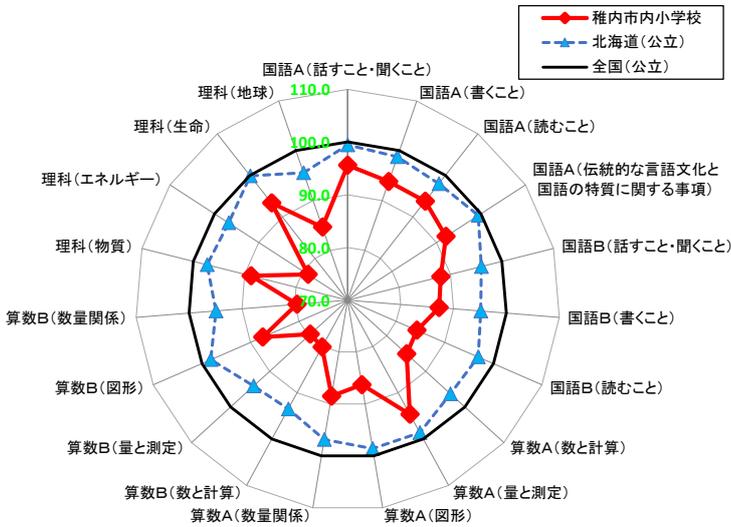


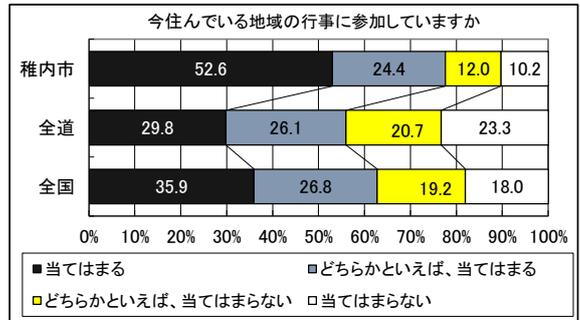
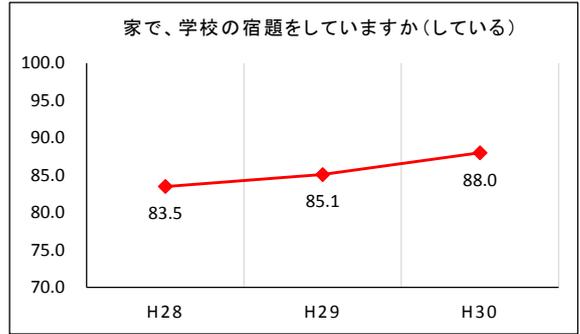
■ 稚内市内小学校の状況及び学力向上策 (学校数:11校、児童数:266人)

【教科全体の状況】

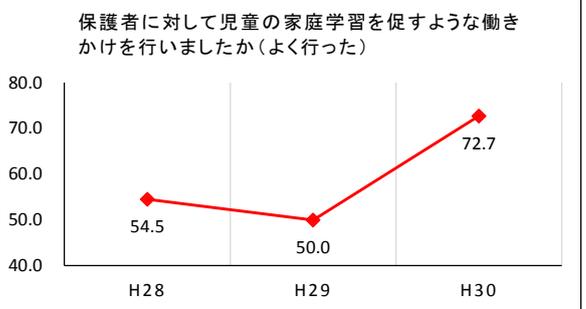
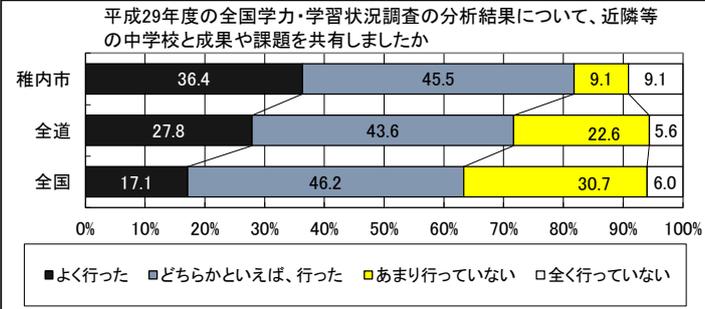
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行ったことにより、家庭と連携した学習習慣確立の取組の充実が図られ、「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、前年度を上回ったと考えられる。 ○ 教育委員会の施策として、学びの連続性を確保するための小中連携教育の推進を行ったことにより、中学校区をまとまりとして連携した取組の充実が図られ、「全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、前年度より増加している。 ○ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけをよく行った」と回答した学校の割合が、前年度より増加している。 	

【稚内市の学力向上策】

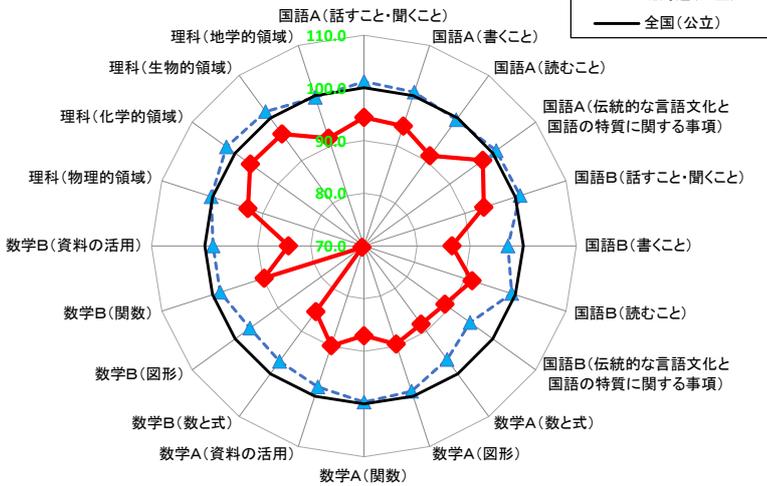
- ◎ 第3、4学年を対象とした学校教育指導員(退職教員等)による「放課後学力グングン塾」の実施
- ◎ 第1、2学年を対象とした市費負担教員の配置による少人数指導の実施
- ◎ 市費による特別支援教育支援員と学校図書協力員の配置
- ◎ ICT機器活用推進
- ◎ 学生ボランティアによる学習支援
- ◎ 授業改善推進チーム活用事業による授業改善の推進
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携教育の推進

■ 稚内市内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 7校、生徒数: 247人)

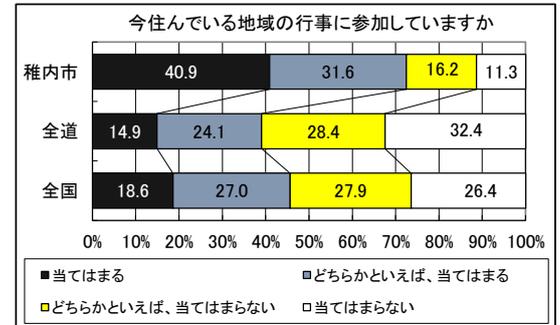
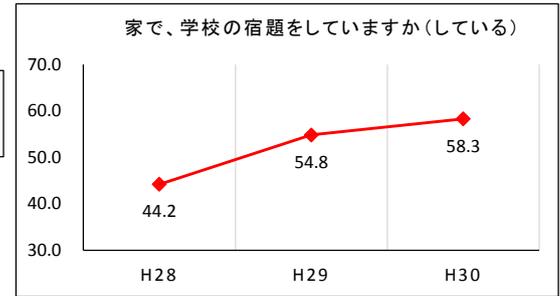
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

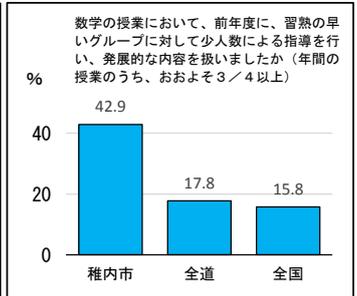
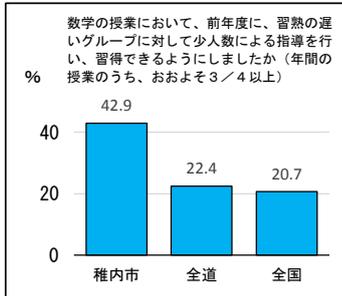
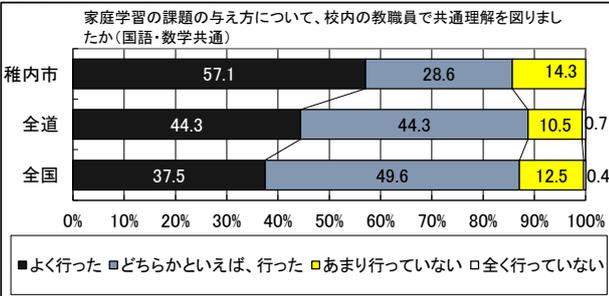
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「化学的領域」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図って指導したことにより、一貫性、継続性のある指導の充実が図られ、「家で学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合が増加したと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合が、前年度より増加している。 ○ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の授業において、生徒の習熟に応じた少人数による指導を行うなど、家庭学習と学習指導の両面から個に応じた指導の充実を図った。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業において、年間の授業のうち、おおよそ3/4以上、習熟の遅いグループや早いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしたり、発展的な内容を扱ったりした」と回答した学校が、全国及び全道を上回っている。 	

【稚内市の学力向上策】

- ◎ 「夢広がる学校づくり推進事業」による学校独自のテキスト(問題集)の作成などの取組
- ◎ 土曜授業の推進
- ◎ 学生ボランティアによる学習支援
- ◎ 市費による特別支援教育支援員と学校図書協力員の配置
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携教育の推進